

ファイルとフォルダー

① ファイルの種類

Windows では、ファイルはアイコンの形で表示されています。アイコンを選択して、ファイル単位でコピーしたり、移動したり、削除したりといった操作を加えることができます。

個々のファイルには識別のための名前（ファイル名）が付けられていて、Windows (OS) は、これらのファイルがどのような性格のものか、データファイルがどのアプリケーションで使うものなのか、などの管理を行っています。

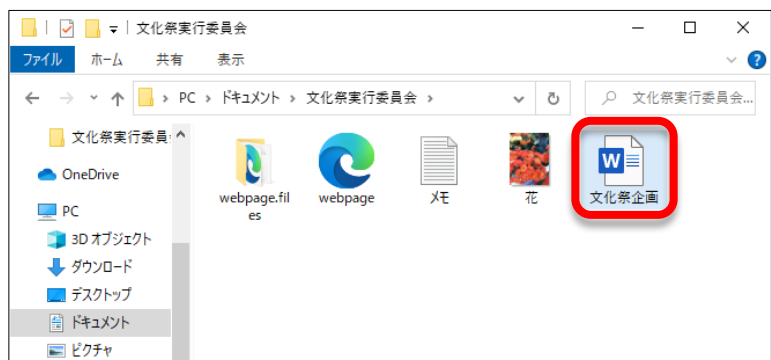
ファイルは、その種類が視覚的にわかるように OS によって識別され、アイコンとして表示されています。アイコンのひとつひとつがファイルにあたり、ファイル名がアイコンの下に表示されています。



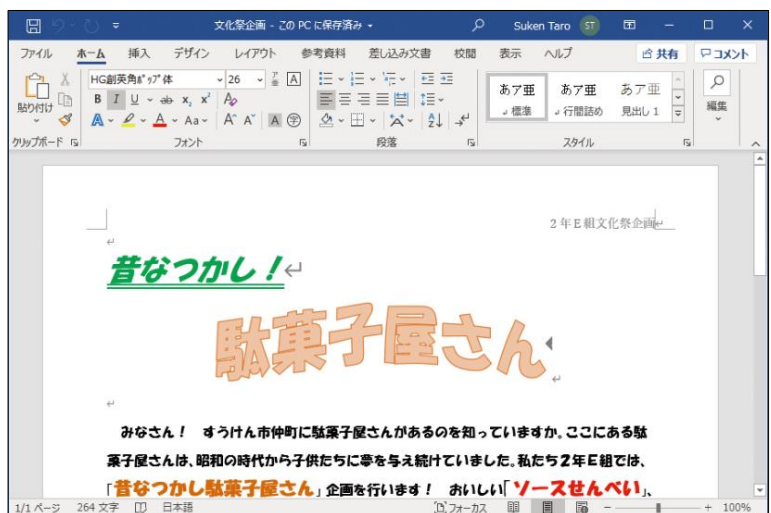
❖ファイルを開く

OS によって、アプリケーションとそのアプリケーションで作成したファイルは関連付けられています。ファイルをダブルクリックするだけで、アプリケーションが起動し、ファイルを開くことができます。

- ① ファイルを直接開くには、開きたいファイルのアイコンをダブルクリックする。



- ② アプリケーションが起動し、ファイルが開く。



② 拡張子とは

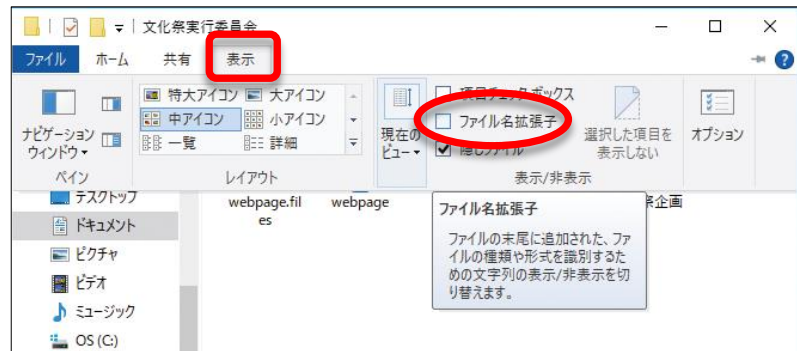
それぞれのファイルには、ほかのファイルと区別するためにファイル名が付けられ、ファイル名の末尾にファイルの種類を表す**拡張子**が付けられます。わたしたちは、どのようなアプリケーションで扱えるファイルかをアイコンの形、あるいは拡張子から判断することができます。

❖ 拡張子を表示する

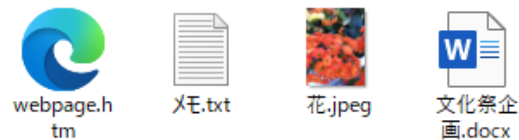
Windows の初期設定では、拡張子は表示されないようになっています。拡張子を表示させてみましょう。

① [ドキュメント] など任意のフォルダーを開き、[表示] タブをクリックする。

② [表示/非表示] にある [ファイル名拡張子] にチェックを入れる。



③ 拡張子が表示される。



③ ファイルのプロパティ

ファイルの種類や作成したアプリケーション、作成日時などを**プロパティ**から調べることができます。ファイルの「プロパティ」を開きましょう。

① ファイルを右クリックする。

② 表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする。

③ 選択した**ファイルのプロパティ**が表示される。



Keyword

● **拡張子** 拡張子とは、ファイル名のうち、「.」（ピリオド）で区切られた右側の文字列で、ファイルの種類が区別できるように付けられた識別記号です。


● **プロパティ** プロパティ（属性）とは、「そのものに備わっている性質」という意味です。

● **ファイルのプロパティ** ファイルの種類やアプリケーションだけでなく、ファイルのある場所や作成日時、ファイルのサイズなどを調べることもできます。

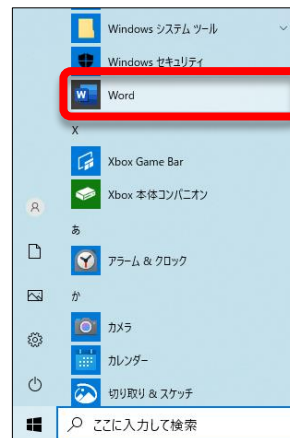
ワープロソフトウェアでの日本語入力

① Word の起動と終了

Word を使って文書を作成するには、Word を起動してウィンドウを開きます。

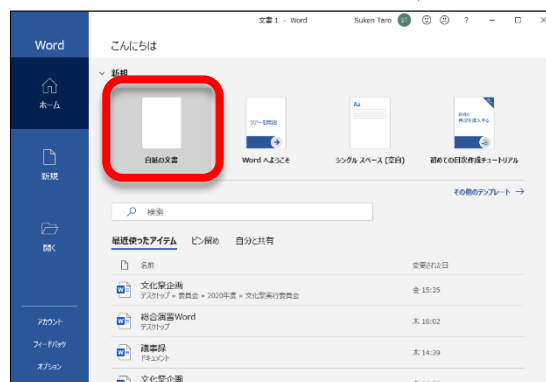
①  (スタートボタン) をクリックする。

② スタートメニューのスクロールバーを下へドラッグして、[Word] をクリックする。

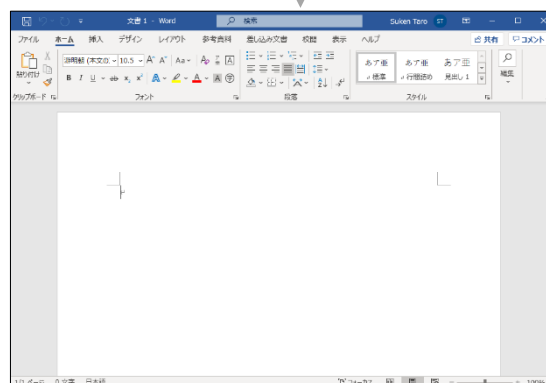



Word が起動し、Word のスタート画面が表示される。

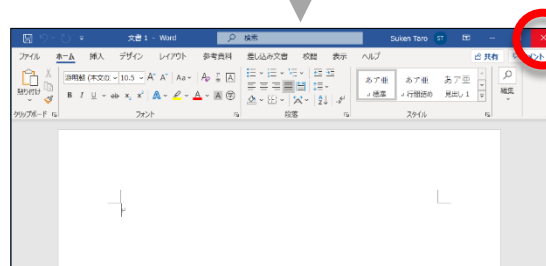
③ [白紙の文書] をクリックする。



④ 「文書 1」という白紙の文書が表示される。



⑤ Word を終了するには、ウィンドウの右上にある  (閉じる) をクリックする。

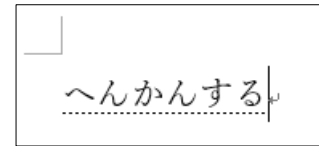


④ 文字の変換と確定

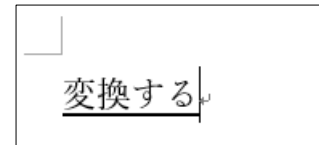
日本語は、ひらがなを漢字などに変換しながら入力していきます。基本的には、**読みの入力** → **変換** → **確定** のくり返しになります。たとえば、ローマ字入力で「変換する」と入力する手順は次のとおりです。

① 読みを入力する。

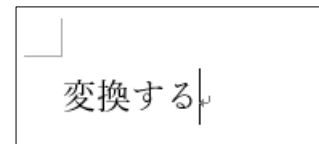
キーボードの「H」「E」「N」「K」「A」「N」「S」「U」「R」「U」を順番に押す。



② **変換** キーを押す。



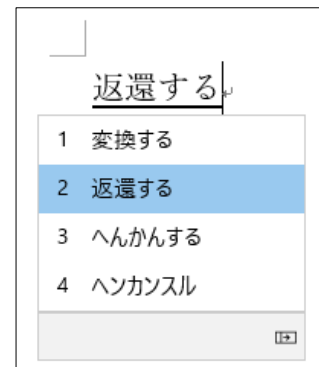
③ **Enter** (エンター) キーを押して確定する。



❖ 目的の漢字に変換されない場合

日本語入力システムは、読みに合った文字を自動的に変換しますが、目的の漢字に変換されない場合は、**変換** キーを続けて押します。右のような候補の一覧が表示されますので、目的の漢字を選び、

Enter キーを押して確定します。



❖ 「ん」の入力

ローマ字入力では、「ん」を入力するには **N** キーを2回押します。ただし、「N」のあとに「N」「Y」以外の子音が続く場合は、「N」1回でも「ん」が入力されます。

*コラム カタカナやアルファベットへの変換

一般的なカタカナは、漢字と同様に読みを入力して変換キーを押せば、変換することができますが、固有名詞や特殊な言葉はファンクションキーを使って変換します。アルファベットへの変換も、ファンクションキーを使うと便利です。

ファンクションキーには、それぞれ次のような機能があります。

- F6** ひらがなに変換
- F7** 全角カタカナに変換
- F8** 半角カタカナに変換
- F9** 全角英数に変換
- F10** 半角英数に変換

※ **F9** キーと **F10** キーは、それぞれ続けて押すことで、大文字・小文字を順次、切り替えます。